

Table with columns: 計画の名称, 計画の期間, 交付対象, 計画の目標, 定量的指標の定義及び算定式, 定量的指標の現況値及び目標値, 備考. Includes details on road network improvement and quantitative targets.

事後評価 (中間評価)

Table for post-evaluation implementation details, including implementation period (March 2021) and public disclosure methods.

1. 交付対象事業の進捗状況

Main table listing project progress with columns: 番号, 事業種別, 地域種別, 交付対象, 直接間接, 事業者, 道路種別, 省略工種, 要素となる事業名, 事業内容, 市町村名, 事業実施期間 (年度), 全体事業費 (百万円), 備考. Lists 206 projects across various municipalities.





番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C1	葛城市内の南阪奈道路と県道御所・香芝線との幹線道路拠点に「道の駅」整備を行うことにより、商業や観光の振興につながる地域連携拠点の強化を図るとともに、既存資源の活用促進と新たな魅力づくりを進める。□	
1-C2	(1-A115)とあわせて、明日香村内における無電柱化を推進するために、電線事業者負担事業費の一部を助成する。	
1-C3	郡山下ッ道JCTの整備に伴い出土した、古代の官道である下ツ道遺構を復元整備し、歴史的価値を広く発信することにより、周遊観光による地域活性化を図る。	
1-C4	基幹事業と関連する渋滞箇所の対策計画の策定、調査の実施により、県内の主要な観光地への更なるアクセス性の向上が図られる。	
1-C5	第二阪奈有料道路へのICアクセスの機能増進計画策定により、基幹事業を含め形成される幹線道路ネットワークの更なる観光地へのアクセス性の向上が図られる。	
1-C6	道路整備計画の策定、およびそれに基づく、効率的・効果的な道路整備の実施により、県内の主要な観光地への周遊促進が図られる。	
1-C101	人口減少社会、高齢化社会の進行を見据えた、より効果的な都市計画道路の整備計画を策定し、計画に基づき適正な道路整備を行うことにより、魅力あるまちづくり・地域の活性化等を図る。	
1-C102	慢性的な渋滞が発生している交差点において、モデル的に渋滞解消のための対策を検証し、対策することで、基幹事業である(都) 服部台明星線の利用促進及び、今後の効果的な道路整備につながり、上牧町の地域経済の活性化を図る。	
1-C103	各事業完成と併せて奈良市都市計画マスタープランに記載されている奈良市全体の道路ネットワークを構築することで、より目標達成に寄与する。	
1-C104	(1-A206)三条線の整備によりJR奈良駅と東の観光拠点を結ぶ三条通りの歩行者数を増すことに加え、中心市街地のにぎわいを創出することにより、国際文化観光都市として人々が集い語り合う都市空間の整備が図れる。	
1-C105	新規の美化活動ボランティア団体が地域の道路の美化活動を行う際に、申請に沿ってゴミ袋や花の種等の消耗品の支援やごみの回収等を行う等の活動支援を行うことで、各地域の景観を守り、観光振興と地域の魅力創造を図る。	
1-C107	(1-A222) 畷傍駅前通り線等の整備とあわせて来訪者の増加等に取り組むことにより、観光振興と地域の魅力創造を図る。	
1-C201	道路整備と合わせ、周遊施設整備を一体的に行うことで周遊ネットワークの形成、周遊促進を図り、主要観光地である信貴山の来訪者の増加に寄与する。	
1-C301	「道の駅」等において道路利用者に魅力的な周遊プランなどの観光情報等を提供することにより、周遊観光を推進する。	
1-C303	自転車による広域的な周遊観光を促進するため、自転車利用促進に向けた取組を進めるとともに効果検証を実施する。	
1-C304	既存道路を活用し、まちなか巡りから広域周遊に対応したネットワークを設定し、案内誘導や注意標示にかかるサイン設置により安全、快適でわかりやすい自転車ネットワークを構築する。	
1-C305	世界遺産地域等へ来訪する観光客が目的地まで迷わずに到達でき、快適かつ円滑に観光・周遊出来るよう、わかりやすい案内を行う。	
1-C306	奈良県が行う幹線ルートの進捗に合わせ、地域内ルートを整備(サイン設置等) することにより市内の自転車利用ネットワークを概成し、市内来訪者の増加による賑わいの創出と安心して走行できる道路空間を整備する。	
1-C307	奈良盆地周遊型ウォークルートにおいて観光客が目的地まで迷わずに到達でき、快適かつ円滑に観光・周遊出来るよう、わかりやすい案内を行う。	
1-C308	郡山城及びその城下町へ来訪する観光客が目的地まで迷わずに到達でき、快適かつ円滑に観光・周遊出来るよう、わかりやすい案内を行う。	
1-C309	キトラ古墳等へ来訪する観光客が目的地まで迷わずに到達でき、快適かつ円滑に観光・周遊出来るよう、わかりやすい案内を行う。	
1-C310	奈良盆地周遊型ウォークルートにおいて観光客が目的地まで迷わずに到達でき、快適かつ円滑に観光・周遊出来るよう、わかりやすい案内を行う。	
1-C311	奈良盆地周遊型ウォークルートにおいて観光客が目的地まで迷わずに到達でき、快適かつ円滑に観光・周遊出来るよう、わかりやすい案内を行う。	
1-C312	大門ダム等へ来訪する観光客が目的地まで迷わずに到達でき、快適かつ円滑に観光・周遊出来るよう、わかりやすい案内を行う。	
1-C313	大門ダム等へ来訪する観光客が目的地まで迷わずに到達でき、快適かつ円滑に観光・周遊出来るよう、わかりやすい案内を行う。	
1-C314	キトラ古墳等へ来訪する観光客が目的地まで迷わずに到達でき、快適かつ円滑に観光・周遊出来るよう、わかりやすい案内を行う。	
1-C315	キトラ古墳等へ来訪する観光客が目的地まで迷わずに到達でき、快適かつ円滑に観光・周遊出来るよう、わかりやすい案内を行う。	
1-C317	公共交通の利用を促進するとともに、マイカー利用による中心市街地への流入を抑制する。	
1-C318	市道中部929号あやめ池踏切幅による自動車の走行をスムーズにするため、既存南北地下通路にエレベータを設置し、車いす利用者等の階段利用が困難な方の踏切迂回をへらす。	
1-C401	道路整備と合わせ、奈良への観光に利用される道路施設の修景整備を行うことで、古都奈良のまちなみ等の奈良のイメージに合った道路景観を形成する。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

**2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況**

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備により拠点都市間の移動の快適性並びに、観光拠点施設へ至る道路交通の円滑性及び安全性が向上した。</li> <li>・観光拠点施設へ至る道路交通の円滑性及び安全性が向上することで、観光地としての魅力が向上した。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①(短縮した移動時間の総和)	最終目標値	8分	目標値と実績値に差が出た要因	・道路整備の進捗により個別の効果はあったものの、目標を達成するまでには至らなかった。
		最終実績値	5分40秒		
	指標②(対象地域の観光客数の達成率)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	132%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客数が増加することにより、地域の活性化につながった。</li> </ul>			

**3. 特記事項(今後の方針等)**

引き続き、骨格幹線ネットワークの整備や公共交通の利用促進による中心市街地へのマイカーの流入抑制等を総合的に進めることで、自動車、公共交通の適正分担や、さらなる観光振興と地域の魅力創造を図る。